

新年のごあいさつ



謹賀



みよし市長
おやま たすく
小山 祐

明けましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、令和3(2021)年12月の就任以来1年が経過しました。この間、本市においては目指すべき市の姿として掲げる「人が輝き、挑戦し続ける街づくり」の実現に向け、前例に捉われることなくさまざまな施策の創設と改善に取り組んでまいりました。その根底にあるのは、市役所は「市民の役に立つ所」でなければならず「制度政策は行政がつくるのではなく、市民の声と想いがつくる」という考えです。そのため私自身、昨年1年間で市民・団体・企業等の皆さんの下への訪問あるいは来訪いただいた件数は1,000件を超え、また私が市民の皆さんと少人数で気軽に意見交換する場である「市長と話そう！」は令和4(2022)年7月28日の開催以来42回201人にご参加いただき、多くの生の声をいただいてまいりました。

本市においては、カーボンニュートラルの実現や急速な高齢化に対応するための地域包括ケアの充実、老朽化する公共施設の統廃合や社会インフラの更新など、先送りが許されない課題も山積しております。私たち行政の役割はこうした市民の皆さんの「想い」を「かたち」にしていくことであると思います。そして行政と市民の皆さんで夢の実現に向けてともに築き上げていくのが街づくりであります。

私たちはこれからも市民の皆さんとともに歩み続けます。そして、ともに未来を語り、ともに未来を切り拓いていきます。将来の不安を希望へとつくり変えていくため、一人ひとりの生き方が尊重され、喜びと困難を分かち合っている社会のため、そしてこの街で叶えられない夢はないと私たちが確信し困難を乗り越える力強さをもった街をつくるために、これからも私たちは挑戦し続けます。

本年が皆様にとって実り多き素晴らしい年になりますよう祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

新年

卯



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、清々しい初春を迎えられていること心からお喜び申し上げます。日ごろから市議会活動に対してご理解とご協力を賜り、議会を代表し深く感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などにより、生活に不安を募らせる日々が続く1年でありました。本年はこれらが収束に向かい、市民の皆さまにとりまして希望あふれる年となりますことを切に願うものであります。

さて本市では、三大夏まつりをはじめコロナ禍で中止となっていたイベントが再開され、活気あふれる会場で市民の皆さまの笑顔を拝見し、大変うれしく思いました。

市議会においても、3年ぶりとなる「議会報告会・市民との意見交換会」を開催しました。ワークショップ形式での意見交換会は初の試みであり、市民の皆さまと議員とが議論を深め合う有意義な会となりました。議会に対するご意見もいただきましたので、併せて今後の議会活動に生かしてまいります。そのほかにも、議会広報「きずな」を年5回発行し活動状況などを発信しています。今後も皆さまに開かれた議会を目指してまいります。

二元代表制の一翼を担う市議会として、今後も市民目線で市政を厳しく監視し、本市が一層住みよいまちとなるよう、皆さまの声を市政に反映させるべく議会活動に取り組んでまいります。

本年は統一地方選挙が予定されており、新たな議会体制へつながる年です。気持ちを引き締め、引き続き市政課題解決に精進していきたいと考えています。

結びに、迎えた新年が皆さまにとって素晴らしいものとなりますようご祈念申し上げますとともに、「ふるさとみよし」のさらなる発展に全力を注いでまいりますことをお誓い申し上げ、年頭のあいさつといたします。



みよし市議会議長
みずの りゅういち
水野 隆市